

指標：気候変動の緩和と適応



カテゴリー/指標	独自に保証された測定値			KPMG
	2020年度 のデータ	2021年度 のデータ	2022年度 のデータ	
廃棄物(トン)				
廃棄物総発生量	87,000	87,300	85,510	☑
規制対象廃棄物総発生量	43,200	41,300	37,510	☑
非有害廃棄物総発生量	43,800	46,000	48,000	☑
廃棄物のリサイクル率	34%	37%	36%	☑
廃棄物の埋立処分率	21%	21%	22%	☑
重大な漏出と排出				
法規制違反件数	6	2	8	☑
重大な漏出の件数と量	0	0	0	☑
プロダクト・スチュワードシップ(トン)¹				
回収、再利用もしくは廃棄した製品の総量(年間)	239	245	440	

当社のプレゼンテーションの基盤、予測の境界に関する詳細は、[2022年度の環境指標に関する記述と注記](#)をご覧ください。

¹武田薬品工業株式会社を含む製薬業界250社以上による家庭用医薬品およびシャープの不要品回収・廃棄の合計データ

指標：脱炭素



カテゴリー / 指標	独自に保証された測定値			KPMG
	2020年度 のデータ	2021年度 のデータ	2022年度 のデータ	
スコープ1とスコープ2の温室効果ガス (GHG) (1000 MTCO2e)				
温室効果ガス (GHG) 総排出量 ¹	4,909	5,210	5,612	
スコープ1 排出量	293	316	277	☑
CO2	289	302	-	
CH4	0	0	-	
N2O	0	0	-	
冷媒(HFCs, CFCs, HCFCs)	15	14	-	
スコープ2 排出量：ロケーションベース	271	283	291	☑
スコープ2 排出量：マーケットベース	217	178	169	☑
エネルギー (TJ)				
総エネルギー消費量	8,000	8,280	7,952	☑
購入電力 (非再生可能)	2,100	1,780	1,600	☑
購入電力 (再生可能)	836	1,300	1,490	☑
自家発電 (再生可能電力)	4	5	17	☑
電力における再生可能エネルギーの割合	30%	42%	48%	☑
グリーン電力証書 (RECs) を含む再生可能電力の割合 ²	100%	100%	進行中	
供給された温熱・冷熱	100	102	145	☑
燃料消費量	4,960	5,100	4,700	☑
スコープ3の温室効果ガス (GHG) (1000 MTCO2e)				
スコープ3 排出量：該当するすべてのカテゴリー	4,380	4,716	5,166	
カテゴリ1	3,710	4,070	4,060	☑
カテゴリ2	50	35	217	☑
カテゴリ4	458	341	387	☑
カテゴリ7	43	77	85	☑
カテゴリ10	6	14	1	☑
その他の該当するカテゴリー	115	179	416	☑
サプライヤーとの関わり (1000 MTCO2e)				
カテゴリ1、2、4からのスコープ3排出量 ³	N/A	N/A	4,664	
科学的根拠に基づく温室効果ガス排出削減目標を採用することを採用したサプライヤーからのスコープ3排出量[カテゴリ1、2、4] ³	N/A	N/A	2,122	
カーボンニュートラル²				
購入済のカーボンクレジット (VERs) - 1000 MTCO2e	4657	5,033	進行中	☑
購入済 RECs - TJ	606,944	522,693	進行中	☑
購入済 VERs および RECs による GHG 排出量の削減	100%	100%	進行中	☑

当社のプレゼンテーションの基盤、予測の境界に関する詳細は、[2022年度の環境指標に関する記述と注記](#)をご覧ください。

¹温室効果ガス (GHG) 総排出量は、マーケットベースのスコープ2 排出量を用いて算出。

²再生可能エネルギー証書 (REC) および検証済み排出削減量 (VER) の調達を通じて、スコープ 1、2、3 のすべての GHG 排出量を削減します。カーボンニュートラルの検証は、2020年度のデータを対象としています。2021年度 VER の調達は現在進行中であり、完了した時点で独立した検証を行います。

³2022年度以降に新た収集された指標

指標：天然資源の保全



カテゴリー / 指標	独自に保証された測定値			KPMG
	2020年度 のデータ	2021年度 のデータ	2022年度 のデータ	
水(1000 m3)				
取水量	10,770	11,300	10,430	☑
水リスクが「高から非常に高い」地域での取水量	1,180	1,090	1,707	
水リスクが「高から非常に高い」地域での取水量（総摂水量の%）	11%	10%	16%	
取水量 ¹	2,280	2,710	2,240	
水リスクが「高から非常に高い」地域での水消費量	174	165	264	
水リスクが「高から非常に高い」地域での水消費量（総消費量の%）	8%	6%	12%	
水リスクが「高い」または「極めて高い」とされる地域にある製造拠点の割合	20%	20%	34%	☑
排水量	8,490	8,580	8,190	☑
生物多様性				
護地域および/または生物多様性の主要地域に隣接した場所、において所有、リース、または管理している場所の数	N/A	29	29	
保護地域および/または生物多様性の主要地域内またはそれに隣接した場所において所有、リース、または管理しているサイトの面積（ヘクタール）	N/A	329	329	

当社のプレゼンテーションの基盤、予測の境界に関する詳細は、[2022年度の環境指標に関する記述と注記](#)をご覧ください。

¹ 水消費量は、取水量から排水量を差し引いたものを表します。

その他の指標：環境マネジメント



カテゴリー / 指標 ¹	2020年度 のデータ	2021年度 のデータ	2022年度 のデータ
環境マネジメントシステム			
実施されたEHS監査実施数 ²	20	24	26
ISO 14001 認証を受けている製造拠点の割合	73%	73%	77%
ISO 50001 認証を受けている製造拠点の割合	3%	3%	6%
ISO 45001 認証を受けている製造拠点の割合	53%	50%	67%

¹ 武田薬品は、環境データの報告境界のガイドラインとして、業務管理を選択しており、その内容は以下のとおりです。

- 総エネルギー使用量、スコープ1およびスコープ2のGHG排出量については、タケダの全製造拠点、研究開発拠点、米国およびヨーロッパの血漿採取センター、タケダ本社および商業オフィスがタケダの事業活動の範囲として含まれています。
- その他の環境パフォーマンス指標については、タケダの全製造拠点、研究開発拠点、米国・欧州の血漿採取センター、およびデータが入手可能な大規模商業施設を事業活動の範囲としています。小規模な事業所からの貢献は含まれていません。

² EHS 監査には、コーポレート EHS が管理する内部および外部の第三者監査が含まれます。

ISO 14000-45001認証取得サイトのリストは[こちら](#)でご覧いただけます。